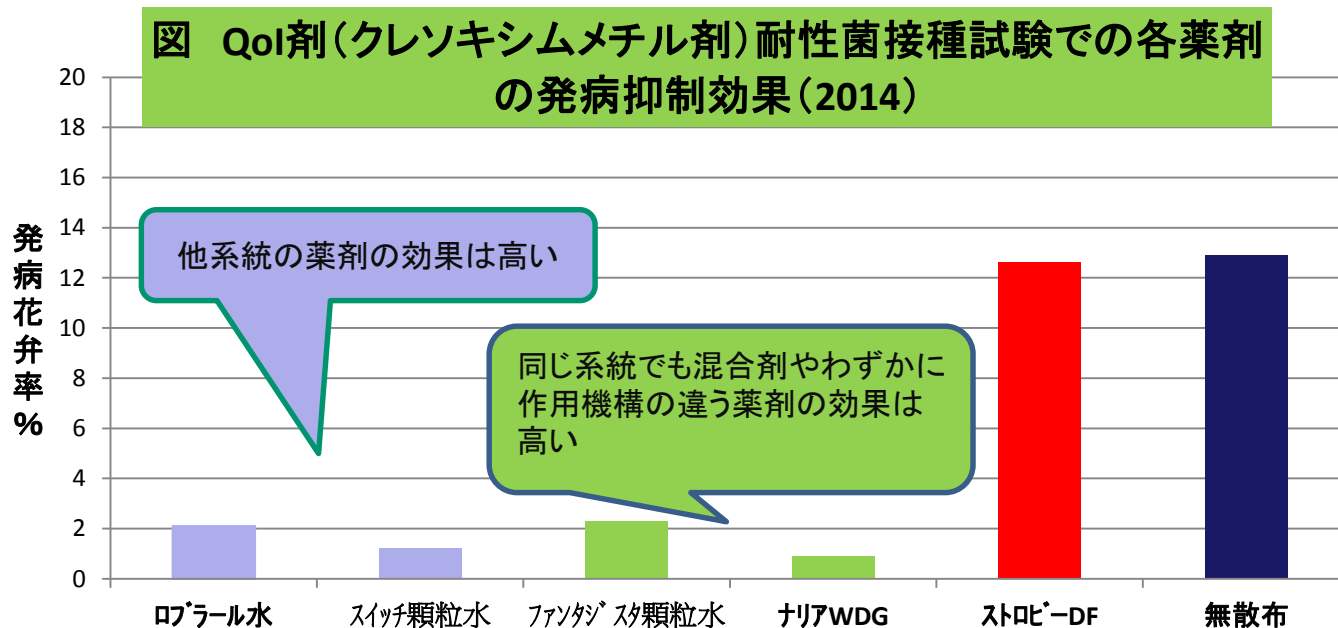


QoI耐性カンキツ灰色かび病菌の愛媛県における発生

平成25年のカンキツにおいて、QoI剤(クレソキシムメチル剤:商品名 ストビーDF)に対して効果の低下した灰色かび病菌の発生が県内で初めて確認された。本剤の使用は、県内では概ね15年以上経過しており、これまで使用実績の多い地域では効果の低下が心配され注意が必要である。



県下全域に広く発生している状況ではないが、効果の高い薬剤を長く使用してくためには薬剤の選択では注意が必要である。

1. 同じ系統に含まれる薬剤の連続使用(特に4~5月の時期)はできるだけ避ける。
2. 効果の低下がみられる園地では、他系統の薬剤を使用する。